

「Blue Winds 事業をさらに発展させるため、 アメリカでスポーツビジネスを学ぶ」

代表者 町田 光己（スポーツ総合課程 3年）

1. 目的と概要

目的

「スポーツ先進国アメリカでスポーツビジネスを学び、本学の Blue Wind 事業の発展に貢献すること」

概要

鹿屋体育大学の Blue Winds 事業をさらに発展させるために、スポーツビジネス先進国であるアメリカでのスポーツビジネス研修に参加した。アメリカ研修では大学スポーツの現場を中心に、現地の観戦者 30 人にインタビュー調査、アンケート調査及びデータ収集を行った。加えて、NBA・MLB のスタジアム見学、NBA で働く日本人社員の方からスポーツチームの運営や組織づくりについて学んだ。これらのアメリカ研修で得た知見を活かし、2025 年 10 月 3 日に鹿屋体育大学で開催されたカレッジスポーツデイに向けて学生マネジメントスタッフのリーダーとして企画・運営に携わった。

2. 実施期間

アメリカ研修：2025 年 9 月 8 日～9 月 14 日

Blue Wind 活動：2025 年 7 月 11 日～10 月 13 日

カレッジスポーツデイ当日：2025 年 10 月 13 日

3. プロジェクトの実施内容

9月8日（月）サンフランシスコ空港着

9月9日（火） San Francisco 49ers スタジアムツアー
Google HQ café, store と Apple Park Visitor Center 訪問
地元のミートアップに参加

9月10日（水） Stanford University 訪問
【講義】 Trust Stanford University 客室乗務員の方から
Stanford University スポーツファシリティーの見学
San Jose State University サッカー部の試合観戦

9月11日（木） 【講義】 アメリカのスポンサー関係で働く日本人から
【講義】 アメリカのNTT docomo で働くビジネスマンから

9月12日（金） 【講義】 University of San Francisco でスポーツマネジメントを学んでいる修士1年生の方から
Golden State Warriors/Chase Center 見学
【講義】 NBA チームで働く日本人の方から
Oracle Park のツアー参加・MLB 観戦

9月13日（土） Stanford University vs Boston College の
アメリカンフットボールの試合観戦
→観戦者30人にインタビュー及びアンケート調査

9月14日（日）サンフランシスコ発

9月15日（月）帰国

9月15日～10月12日

→10月13日（月）開催のカレッジスポーツデイに向けて学生マネジメント
スタッフのリーダーとして企画・運営。

10月13日 カレッジスポーツデイ当日

12月10日 本学の留学フェアにゲストスピーカーとして参加

4. プロジェクトの成果・学内や地域への波及効果

アメリカ研修後に実施した10月13日（月）カレッジスポーツデーでは、計300名以上の方々に来場していただいた。以下、カレッジスポーツデーで取り入れた施策に関して記述していく。

スタンフォード大学で実施した観戦動機に関するアンケート調査では、「大学に対する愛着度」「選手に対する興味関心」が観戦動機の理由として多くあがった。そのため、10月に実施したカレッジスポーツデーでは、これらを満たすイベントや施策を取り入れた。

「大学に対する愛着度」に関しては、いきなり愛着度を高めることは困難であると考えたため、観客の方々に本学の試合会場に来ることに楽しみを感じてもらおう施策を取り入れた。具体的には、会場に選手の写真付き登り旗を設置し、会場を彩り、写真スポットとなるように工夫した。これらの施策を今後のBlue Winds活動でも取り入れていき、「大学に対する愛着度」を高める一助にしていきたい。

「選手に対する興味関心」に関しては、入り口前に選手一覧表を作成し、押し選手投票を実施するなど新たな施策を取り入れた。本学のサッカー部に限らず、大学スポーツの課題の一つとして、「観客の方々の選手の認知不足」があると考えた。そのため、試合会場の入り口前に選手の写真と名前が記載してあるポスターを設置した。また、サッカー部の方々から、「押し選手投票をしたい」と意見をいただいたため、選手一覧表を押し選手投票としても実施した。その結果、子供と親を中心としたファミリー層の方々に多く集まっていた。選手一覧表に関しては、子供たちから「ポスターをもらえないか」との質問があったため、子供たちに記念品として配布した。

これらの経験を通じて、子供たちが楽しむ場所には自然と人が集まるということを感じた。そのため、大学スポーツの集客を改善する一つの施策として、いかにして子供たちを呼び込むことが出来るかが重要であると感じた。

5. 反省点・今後の展望(計画)・感想等

アメリカでのスポーツビジネス研修に関して、反省点は一つない。講義の際は、一番前に座り、必ず質問をするなど自分でも驚くほど積極的にアクションを起こすことが出来た。それが今の自分の行動力に繋がっていると感じる。帰国後に実施したBlue Winds活動では反省点が残った。特に「リーダーとしての立ち振る舞い」に苦戦した。リーダーは全ての業務を率先して取り組む必要があると考えてしまっていたが、指示を出し仕事を与えることもリーダーの仕事であると学んだ。

最後に、アメリカでの研修は私に「アメリカのプロスポーツチームで働く」と

いう新たな夢を与えてくれた。アメリカでのスポーツビジネス研修に参加して良かったと心から感じる。鹿屋体育大学での学生生活は残り1年しかないが、鹿屋体育大学のスポーツマネジメント領域の発展に貢献できるよう、今後も継続してBlue Winds活動に取り組んでいく。
この度は、私のプロジェクトをご支援してくださりありがとうございました。

6. 実施メンバー

代表者 町田光己（スポーツ総合課程 3年）

7. 執行経費内訳

配分予算		300,000 円		
執行経費（品目等）	数量	単価（円）	金額（円）	備考
B-Bridge 研修費用		302,458 円	302,458 円	
航空券 行き		81,544 円	81,544 円	
航空券 帰り		56,610 円	56,610 円	